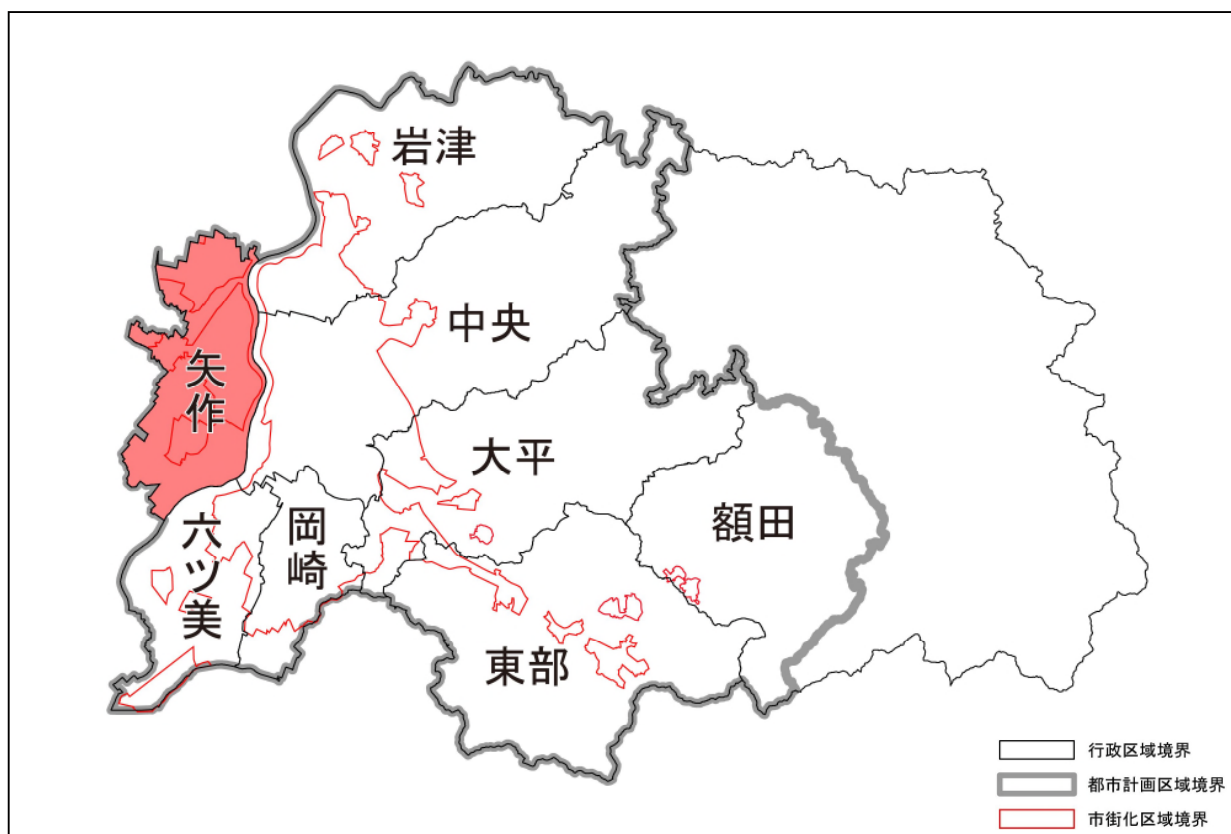


矢作地域

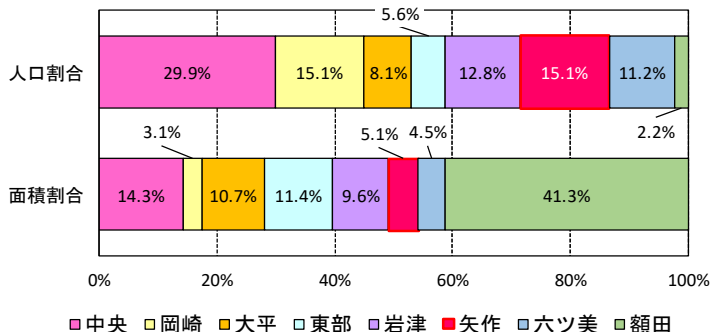
矢作川右岸に広がる平野部にあり、鉄道駅周辺や幹線道路沿いに市街化区域^{*}が指定されており、主に地域の南側の市街化調整区域^{*}には農地と集落が分布しています。



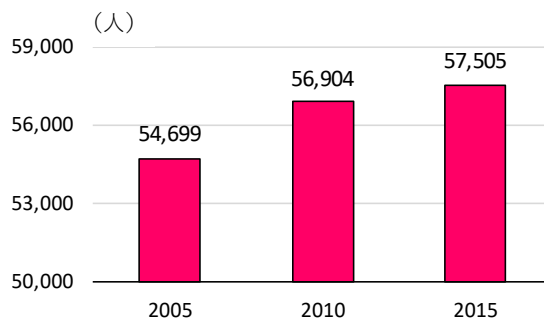
2015年人口：57,505人（市域全体の15.1%）
面積：1,962ha（市域全体の5.1%）

（1）地域の現況

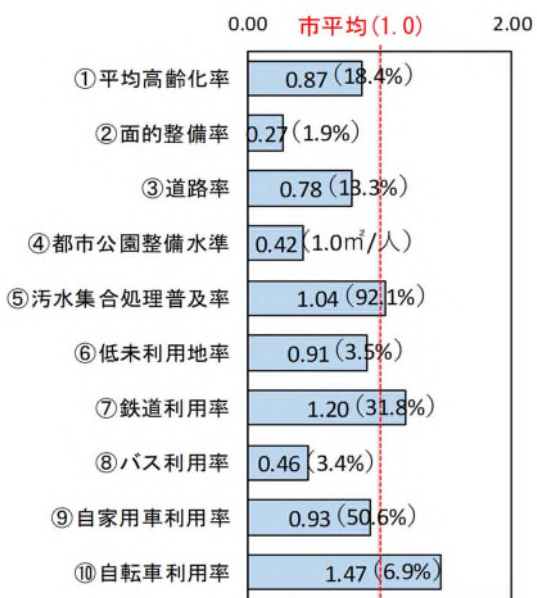
人口・面積割合



人口推移

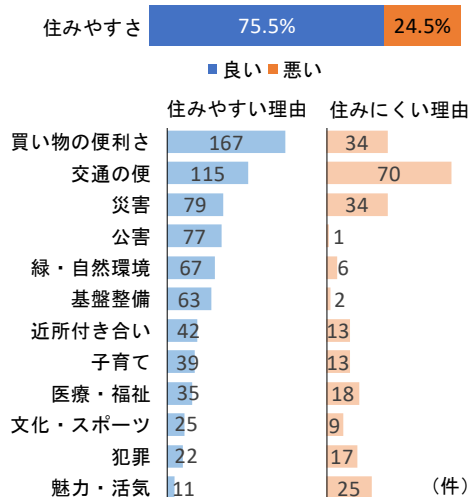


市平均との比較



(市平均値を1.0とした相対評価、括弧内は各指標の地域の実績値)

市民意向



現況のまとめ

- ① 矢作川右岸の平野部に市街地が形成され、南側は豊かな農地があります。(現況)
- ② 国道1号、都市計画道路*名古屋岡崎線周辺に産業が集積しています。(現況)
- ③ 矢作橋駅、西岡崎駅周辺を地域拠点に位置づけ、生活利便性を支える機能の維持・集積を図っています。(現況)
- ④ 幹線道路で主要渋滞箇所があり、交通の利便性に課題があります。(現況、意向)
- ⑤ 大規模工場の産業観光、北野廃寺跡の歴史資源などの地域資源が点在しています。(現況)
- ⑥ 矢作川などの浸水想定区域*や地震災害に対する危険性の高い地域があります。(現況、意向)
- ⑦ 人口は増加しているものの、増加幅は縮小しています。また、高齢化率は市平均以下となっています。(比較)
- ⑧ 面的整備率が平均を下回っています。(比較)
- ⑨ 都市公園整備水準が平均を下回っています。(比較)
- ⑩ 鉄道利用率は高いものの、バス利用率が平均を下回っています。(比較)

(現況)：地域の現況 (比較)：市平均との比較

(意向)：アンケート、説明会からの市民意向

（2）地域のまちづくりの課題と地域づくりの目標

<矢作地域の将来像>
 鉄道駅周辺をはじめとした市街地では良好な居住環境※づくりを進め、地域の南側では農地を保全するまちづくりを目指します。

地域のまちづくりの課題	地域づくりの目標
主要課題1 広域的なネットワークの変化への対応 ・国道1号や都市計画道路※名古屋岡崎線を生かした産業の強化（現況のまとめ②）	目標1 主要幹線道路周辺の工業集積を生かした産業の更なる振興
主要課題2 コンパクトでスマートな都市づくりへの対応 ・矢作橋駅や西岡崎駅の交通結節機能※の活用（現況のまとめ③） ・南北方向の幹線道路などの充実（現況のまとめ④） ・公共交通の利便性強化（現況のまとめ⑩） ・無秩序な市街化の抑制（現況のまとめ①） ・自然環境の保全と活用（現況のまとめ①）	目標2 市街地と農地が調和した、利便性の高い環境の創出
主要課題3 住み続けられる居住環境※の質の向上への対応 ・道路などの基盤施設※の充実（現況のまとめ④） ・矢作橋駅や西岡崎駅周辺における生活利便性の向上（現況のまとめ③④⑦） ・身近な憩いの空間の確保（現況のまとめ⑨） ・良質な居住環境の形成（現況のまとめ③）	目標3 矢作橋駅、西岡崎駅を中心とした利便性の高い居住環境の整備
主要課題4 自然・歴史・文化を生かした都市の活性化・観光振興への対応 ・産業観光や史跡北野廃寺跡などの観光資源の活用（現況のまとめ⑤）	目標4 地域資源を活用した魅力ある空間の創出
主要課題5 大規模自然災害などに備えた安全で安心な都市づくりへの対応 ・災害に備えたハード・ソフト対策による被害を最小限に抑える取組み（現況のまとめ⑥） ・治水対策の促進（現況のまとめ⑥） ・地震災害に対する取組みの推進（現況のまとめ⑥）	目標5 市民などとともに水害などの危険性を踏まえたハード・ソフト対策の推進による自然災害への対応

（3）地域のまちづくりの方針

土地利用※に関する方針と主な施策

1 地域の特性に応じた良質な居住環境※の形成 目標2 目標3

良質な居住環境の形成

- ・地域の中央や南側には主に一般住宅地を配置し、良質な居住環境の形成に努めます。
- ・工業系用途地域※で大規模な土地利用転換が生じる際は、用途地域の変更や地区計画※を活用し新たな市街地像に沿った土地利用に規制・誘導します。

2 地域の特性に応じた都市機能※の導入・集積による利便性の高い市街地の形成

目標1 目標3

地域拠点の形成・・・1

- ・地域拠点の矢作橋駅周辺や西岡崎駅周辺に周辺商業地を配置し、地域の玄関口にふさわしい拠点を形成するため、商業施設や医療施設などの地域住民の日常生活に必要な機能の集積を図ります。

沿道サービス施設の立地誘導

- ・都市計画道路※日名橋線や豊田西尾線などの主たる幹線道路の沿道では沿道複合地として、商業や業務などに係る沿道サービス施設の立地を誘導します。

教育機能の維持・充実

- ・文教・学術地では教育機能の維持・充実を図るため、必要に応じて方策を検討します。

3 産業振興に資する新たな産業用地の確保・誘導 目標1 目標2 目標3

産業用地の検討・・・2

- ・必要に応じて地区計画などを活用し、既存の工業地などの拡充や幹線道路沿道で工業用地の確保に努めます。

良好な操業環境の保全

- ・地域の北側や南側の大規模工業施設が立地している地区は工業地として位置づけ、住宅地と区分しながら良好な操業環境の保全を図ります。

4 無秩序な市街地拡大の抑制と市街化調整区域※の自然環境の保全 目標2

無秩序な市街化の抑制

- ・市街地の拡散を防止するため、無秩序な市街化を抑制します。

市街化調整区域の自然環境の保全・活用

- ・生物多様性の保全を図り市民が身近に自然を感じられるように、市街化調整区域の農地などの保全・活用を推進します。

集落環境の維持

- ・農地などの田園環境を保全し、大規模集落地では生活環境※の維持に努めます。

市街地整備※に関する方針と主な施策

1 低未利用地※などの利活用の推進 **目標2**

低未利用地の有効活用

- ・計画的な市街地形成のため、一団の未利用地における土地利用※を検討します。

道路・公共交通に関する方針と主な施策

1 広域道路網※の整備促進、幹線道路網の強化、身近な道路の整備推進 **目標1** **目標2**都市計画道路※などの整備・・・**3**

- ・地域内や地域間の円滑な交通を確保するため、都市計画道路豊田西尾線の整備や名古屋岡崎線の4車線化を促進し、都市計画道路矢作桜井線や市道小針線の整備を推進します。
- ・地域の主要渋滞箇所の改善に向け、関係機関と連携し対策を検討します。
- ・快適な歩行者空間や安全な道路交通を確保するため、矢作川右岸南北道路整備事業を推進します。
- ・地域内に存在する法指定踏切の解消に向け、関係機関と連携して対応を検討します。
- ・橋りょうなどの道路構造物は、定期的な点検と計画的な補修・補強を実施することで予防保全を図ります。

2 安全で快適な歩行者・自転車通行空間の確保 **目標3**

歩行者や自転車の通行空間の確保

- ・歩行者や自転車利用者が安全で快適に移動できるよう身近な道路の整備を進めます。
- ・通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の交通安全対策を推進します。

3 鉄道やバスなどの連携による公共交通ネットワークの構築 **目標2** **目標3**地域拠点間におけるバス交通などの連携強化・・・**4**

- ・各拠点間の南北軸の強化を検討するとともに、地域での主体的な取組みを基礎とした移動手段の確保と利便性の向上に努めます。

4 交通結節点の利便性向上のための環境整備、ユニバーサルデザイン※化の推進

目標2 **目標3**

矢作橋駅周辺整備

- ・矢作橋駅では公共交通をより多くの方がより便利に使えるよう、パークアンドライド※、サイクルアンドライド※などの乗り継ぎ利便性の向上を図るとともに、快適な待合空間の整備などバス停環境の改善を検討します。
- ・地域拠点での乗り継ぎ利便性の向上を図るため、駅前広場の整備に取り組めます。

公園・緑地に関する方針と主な施策

1 生産緑地※、社寺林などの自然環境の保全 **目標3** **目標4**

生産緑地の保全・活用

- ・都市農業※の保全やグリーンインフラ※の観点から、生産緑地の保全と活用を推進します。

身近な地域資源の保全

- ・自然・歴史・文化などの身近な地域資源を保全します。

河川・上下水道に関する方針と主な施策

1 治水・浸水対策の強化 **目標3** **目標5**

河川改修などの促進

- ・矢作川の河川整備流量を安全に流下させるために、河道掘削や樹木伐開を行い必要な河道断面を確保する取組みを促進します。
- ・洪水による災害の発生の防止、被害の軽減のため、矢作川下流域圏（鹿乗川など）の河川改修を促進します。
- ・河川情報の収集と情報伝達体制及び警戒避難体制の充実を図ります。

景観・自然環境に関する方針と主な施策

1 景観計画に基づく歴史・文化資源や景観の保全 **目標1** **目標2** **目標3** **目標4**

史跡北野廃寺跡の整備

- ・地域の貴重な歴史遺産の保存と活用を図るため、史跡北野廃寺跡の第二次整備に取り組めます。

防災に関する方針と主な施策

1 防災都市基盤[※]の強化による災害に強い都市づくりの推進 **目標5**

公共施設の耐震化

- ・橋りょうなどの公共施設の耐震化を推進します。

防災機能を有する道路や広場などの整備

- ・災害時の地域住民の安全を確保するため、避難路である道路や避難地、火災延焼防止機能を有する広場などの整備を図ります。

2 事前復興の取組みの推進 **目標2** **目標5**

地籍調査[※]の推進

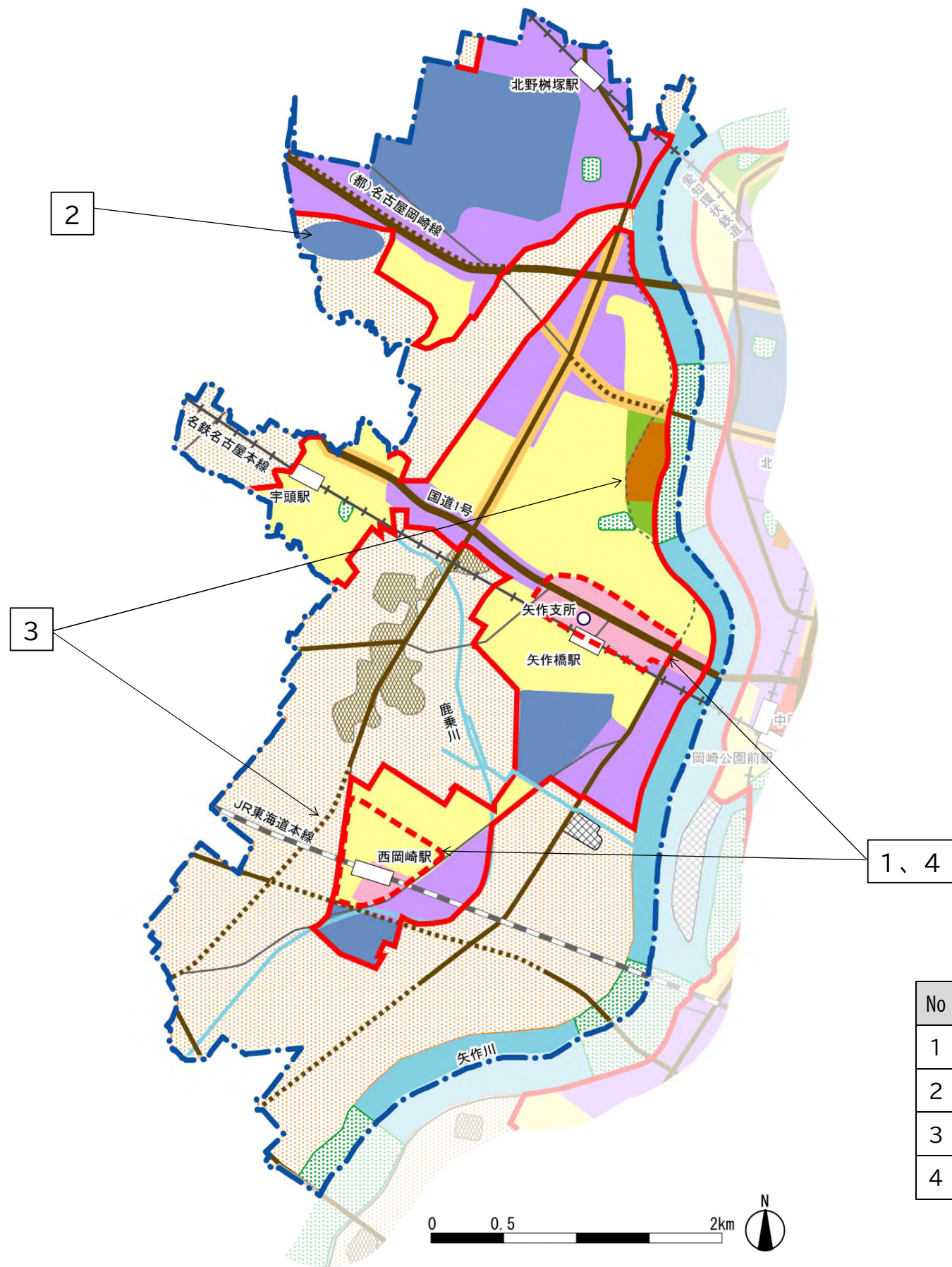
- ・被災後の早期回復のため、地籍調査を推進します。

災害に備える体制の検討

- ・市民や事業者とともにまちの防災性を向上させる取組みを促し、災害に強く早急な復旧・復興ができる体制を検討します。
- ・地震時の延焼危険性や避難・消防活動の困難性が高い地区や浸水被害が想定される地区を中心に、地区計画[※]などにより災害に強いまちづくりを進めます。

まちづくり構想図(矢作地域)

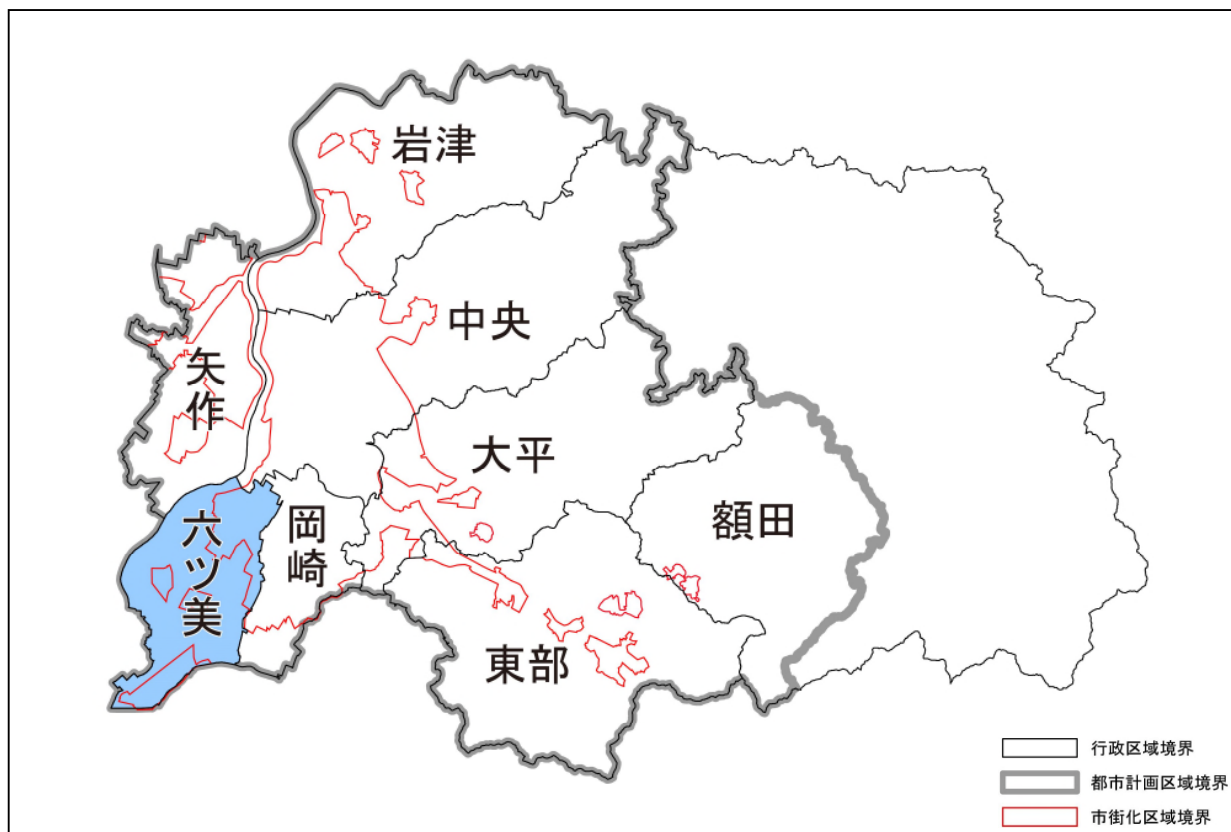
- 市街化区域境界
- - - 地域境界
- 拠点等の区域
- 専用住宅地
- 一般住宅地
- 沿道複合地
- 周辺商業地
- 職住調和地
- 工業地
- 大規模集落地(市街化調整区域)
- 農業保落地(市街化調整区域)
- その他(市街化調整区域)
- 文教・学術地
- 主な公園・緑地
- 高速道路
- 主要幹線道路(計画)
- 都市幹線道路(計画)
- 地区幹線道路(計画)
- その他〈県道・市道〉(計画)



No	施策・事業
1	地域拠点の形成
2	産業用地の検討
3	都市計画道路※などの整備
4	地域拠点間におけるバス交通などの連携強化

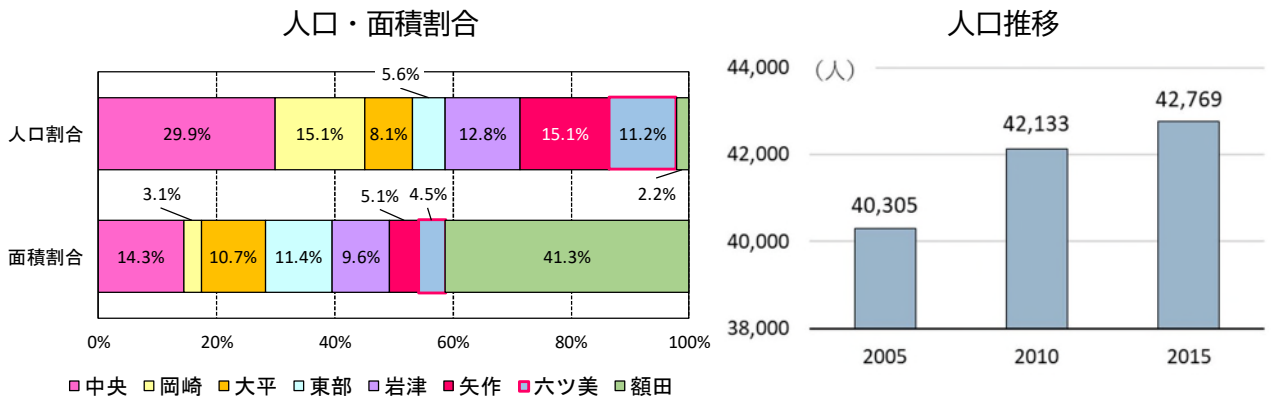
六ツ美地域

矢作川左岸に広がる平野部で、地域の北側と南側には市街化区域[※]が指定されており、中央の市街化調整区域[※]には農地が広がっています。

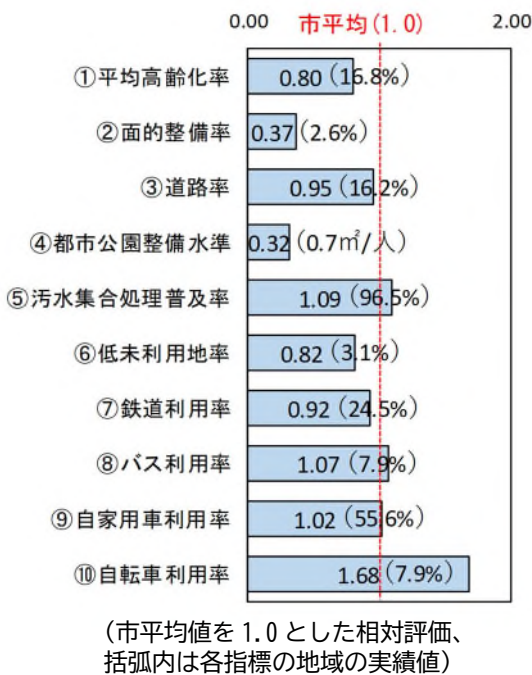


2015年人口： 42,769 人（市域全体の11.2%）
 面積： 1,739 ha（市域全体の4.5%）

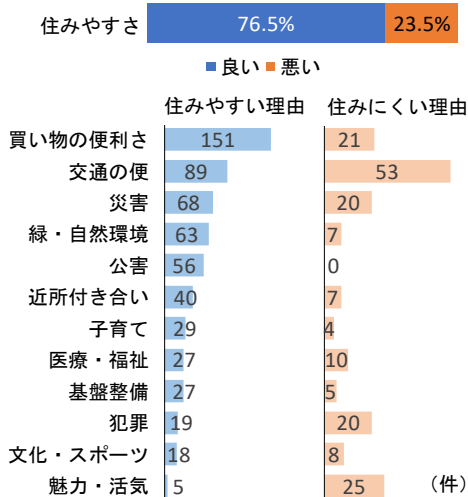
（1）地域の現況



市平均との比較



市民意向



現況のまとめ

- ①地域の北側、南側には市街化区域※、中央の市街化調整区域※には農地が広がっています。(現況)
- ②地域の中央に大規模工業施設が集積しています。(現況)
- ③中島バス停周辺を地域拠点に位置づけ、生活利便性を支える機能の維持・集積を図り、六ツ美市民センター周辺を地区拠点に位置づけ、生活環境※の維持を図っています。(現況)
- ④悠紀の里などの歴史・文化資源が点在しています。(現況)
- ⑤人口は増加傾向にあるものの、増加幅は縮小しています。また、高齢化率は市平均以下となっています。(比較)
- ⑥面的整備率、都市公園整備水準が市平均を下回っています。(比較)
- ⑦鉄道やバスなどの公共交通の利用率は市平均とほぼ同水準にあります。(比較)
- ⑧道路率は市平均と同水準ですが、意向調査の住みにくい理由として約4割の市民が交通の利便性に課題を感じています。(比較・意向)
- ⑨矢作川などの浸水想定区域※があります。(現況・意向)

(現況)：地域の現況 (比較)：市平均との比較

(意向)：アンケート、説明会からの市民意向

（2）地域のまちづくりの課題と地域づくりの目標

＜六ツ美地域の将来像＞

地域の北側、南側では良好な居住環境※づくりを進め、中央では優良な農地を保全するまちづくりを目指します。

地域のまちづくりの課題	地域づくりの目標
主要課題1 広域的なネットワークの変化への対応 ・大規模工業施設の集積を生かした産業の振興（現況のまとめ②）	目標1 工業集積を生かした産業の振興
主要課題2 コンパクトでスマートな都市づくりへの対応 ・地域拠点の生活利便施設の集積と地区拠点の生活環境※の維持（現況のまとめ③） ・公共交通の利便性の向上（現況のまとめ⑦） ・無秩序な市街化の抑制（現況のまとめ①） ・自然環境の保全と活用（現況のまとめ①）	目標2 地域拠点、地区拠点を中心とした生活利便性の集積と維持
主要課題3 住み続けられる居住環境の質の向上への対応 ・道路などの基盤施設※の充実（現況のまとめ⑥⑧）	目標3 市街地、集落地などの特徴を生かした居住環境の形成・維持
主要課題4 自然・歴史・文化を生かした都市の活性化・観光振興への対応 ・悠紀の里などの歴史文化資源の保全・活用（現況のまとめ④）	目標4 地域資源を生かした魅力ある空間の創出
主要課題5 大規模自然災害などに備えた安全で安心な都市づくりへの対応 ・災害に備えたハード・ソフト対策による被害を最小限に抑える取組み（現況のまとめ⑨） ・治水対策の促進（現況のまとめ⑨）	目標5 市民などとともに水害などの危険性を踏まえたハード・ソフト対策の推進による自然災害への対応

（3）地域のまちづくりの方針

土地利用※に関する方針と主な施策

1 地域の特性に応じた良質な居住環境※の形成 目標2 目標3

良質な居住環境の形成

- ・地域の北側や南側には専用住宅地、一般住宅地を配置し、良質な居住環境の形成に努めます。

2 地域の特性に応じた都市機能※の導入・集積による利便性の高い市街地の形成

目標1 目標3

地域拠点の形成・・・1

- ・地域拠点の中島バス停周辺では周辺商業地を配置し、地域住民の日常生活を支える機能の維持・集積を図ります。

地区拠点の機能維持・・・2

- ・六ツ美市民センター周辺では地区拠点にふさわしい公共施設を中心にした地域交流機能の維持・向上に努めます。

沿道サービス施設の立地誘導

- ・都市計画道路※衣浦岡崎線や岡崎一色線など主要な幹線道路の沿道は沿道複合地として、商業や業務などに係る沿道サービス施設の立地を誘導します。

3 産業振興に資する産業用地の確保・誘導 目標1

産業用地の検討

- ・既存の工業地に隣接し市街化調整区域※の市街化が見込まれる地区は、産業用地としての検討を進めます。

良好な操業環境の保全・活用

- ・地域の中央の大規模工業施設が立地している地区は、工業地として位置づけ住宅地と区分しながら、良好な操業環境の保全を図ります。

4 無秩序な市街地拡大の抑制と市街化調整区域の自然環境の保全 目標2

無秩序な市街化の抑制

- ・市街地の拡散を防止するため、無秩序な市街化を抑制します。

市街化調整区域の自然環境の保全・活用

- ・生物多様性の保全を図り、市民が身近に自然を感じられるように、市街化調整区域の農地などの保全・活用を推進します。

集落環境の維持

- ・農地などの田園環境を保全し、大規模集落地などでは生活環境※の維持に努めます。

市街地整備※に関する方針と主な施策

- 1 地域拠点における地域の特性に応じた良質な居住環境※の形成 目標1 目標2 目標4
 住居系市街地の形成・・・3
 ・地域拠点に近接する市街化調整区域※の市街化が見込まれる地区については、適正な土地利用※を図り居住環境の向上を図ります。
- 2 低未利用地※などの利活用の推進 目標2
 低未利用地の有効活用
 ・計画的な市街地形成のため、一団の未利用地における土地利用を検討します。

道路・公共交通に関する方針と主な施策

- 1 広域道路網※の整備促進、幹線道路網の強化、身近な道路の整備推進 目標1 目標2
 都市計画道路※などの整備・・・4
 ・地域内や地域間の円滑な交通を確保するため、都市計画道路衣浦岡崎線の4車線化の促進、都市計画道路若松線や市道針崎野畑線や中島岡崎天白線などの整備を推進します。
 ・橋りょうなどの道路構造物は、定期的な点検と計画的な補修・補強を実施することで予防保全を図ります。
- 2 安全で快適な歩行者・自転車通行空間の確保 目標3
 歩行者や自転車の通行空間の確保
 ・歩行者や自転車利用者が安全で快適に移動できるよう身近な道路の整備を進めます。
 ・通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の交通安全対策を推進します。
- 3 鉄道やバスなどの連携による公共交通ネットワークの構築 目標2 目標3
 バス交通などの連携強化
 ・岡崎駅と地域拠点を結ぶバス路線の確保・維持を図るとともに、地域での主体的な取組みを基礎とした移動手段の確保と利便性の向上に努めます。

公園・緑地に関する方針と主な施策

- 1 生産緑地※、社寺林などの自然環境の保全 目標3 目標4
 生産緑地の保全・活用
 ・都市農業※の保全やグリーンインフラ※の観点から、生産緑地の保全と活用を推進します。
 身近な地域資源の保全
 ・自然・歴史・文化などの身近な地域資源を保全します。

河川・上下水道に関する方針と主な施策

- 1 治水・浸水対策の強化 目標3 目標5
 河川改修などの促進
 ・矢作川の河川整備流量を安全に流下させるために、河道掘削や樹木伐開を行い必要な河道断面を確保する取組みを促進します。
 ・洪水による災害の発生の防止、被害の軽減のため、矢作川下流域圏（広田川など）の河川改修を促進します。
 ・河川情報の収集と情報伝達体制及び警戒避難体制の充実を図ります。

景観・自然環境に関する方針と主な施策

1 景観計画に基づく歴史・文化資源や景観の保全 目標1 目標2 目標3 目標4

悠紀齋田の保全・・・5

- ・歴史・文化資源の大嘗祭悠紀齋田（中島地区）を保全します。

防災に関する方針と主な施策

1 防災都市基盤の強化による災害に強い都市づくりの推進 目標5

公共施設の耐震化

- ・橋りょうなどの公共施設の耐震化を推進します。

防災機能を有する道路や広場などの整備

- ・災害時の地域住民の安全を確保するため、避難路である道路や避難地、火災延焼防止機能を有する広場などの整備を図ります。

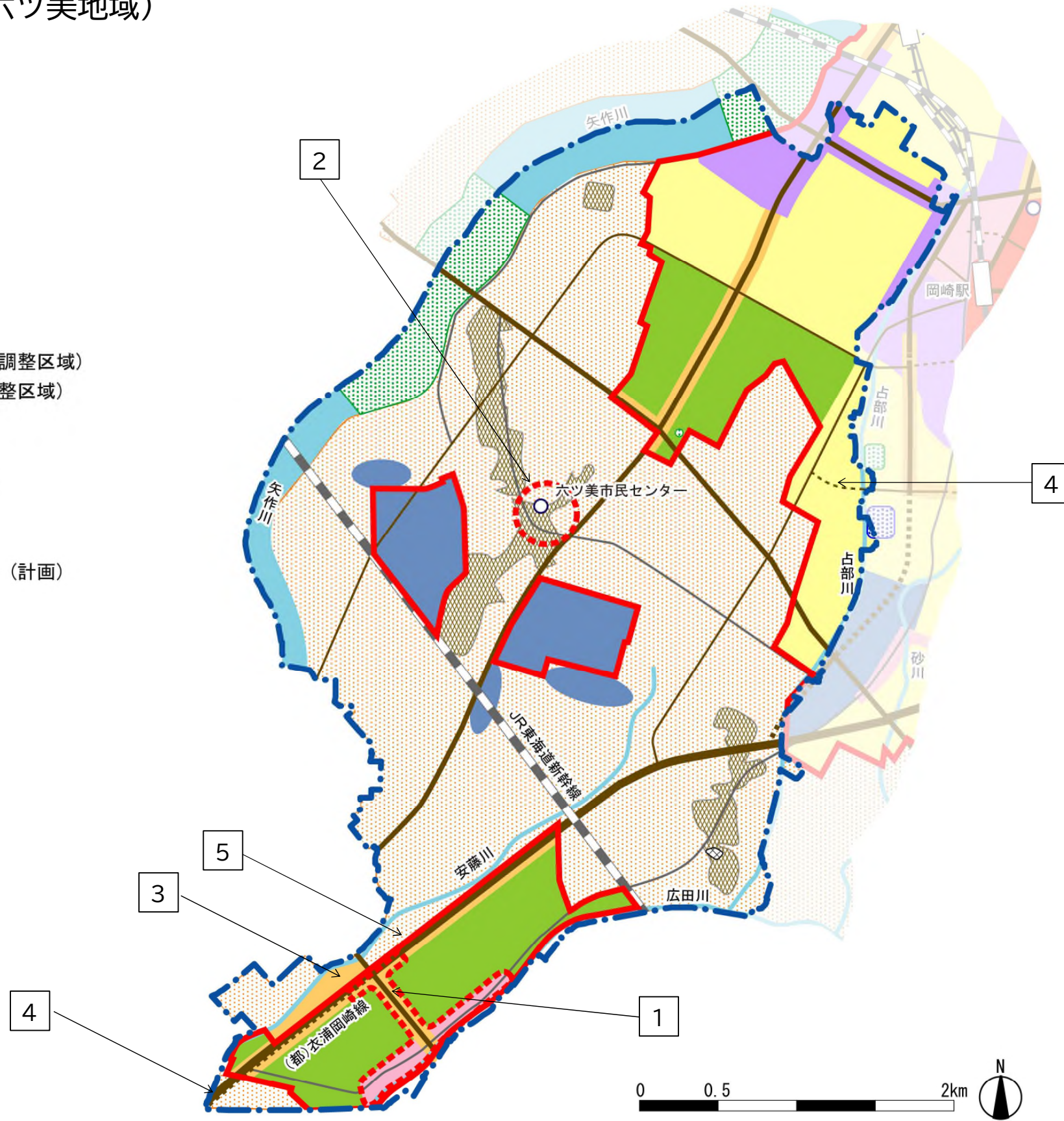
2 事前復興の取組みの推進 目標2 目標5

災害に備える体制の検討

- ・市民や事業者とともにまちの防災性を向上させる取組みを促し、災害に強く早急な復旧・復興ができる体制を検討します。

まちづくり構想図(六ツ美地域)

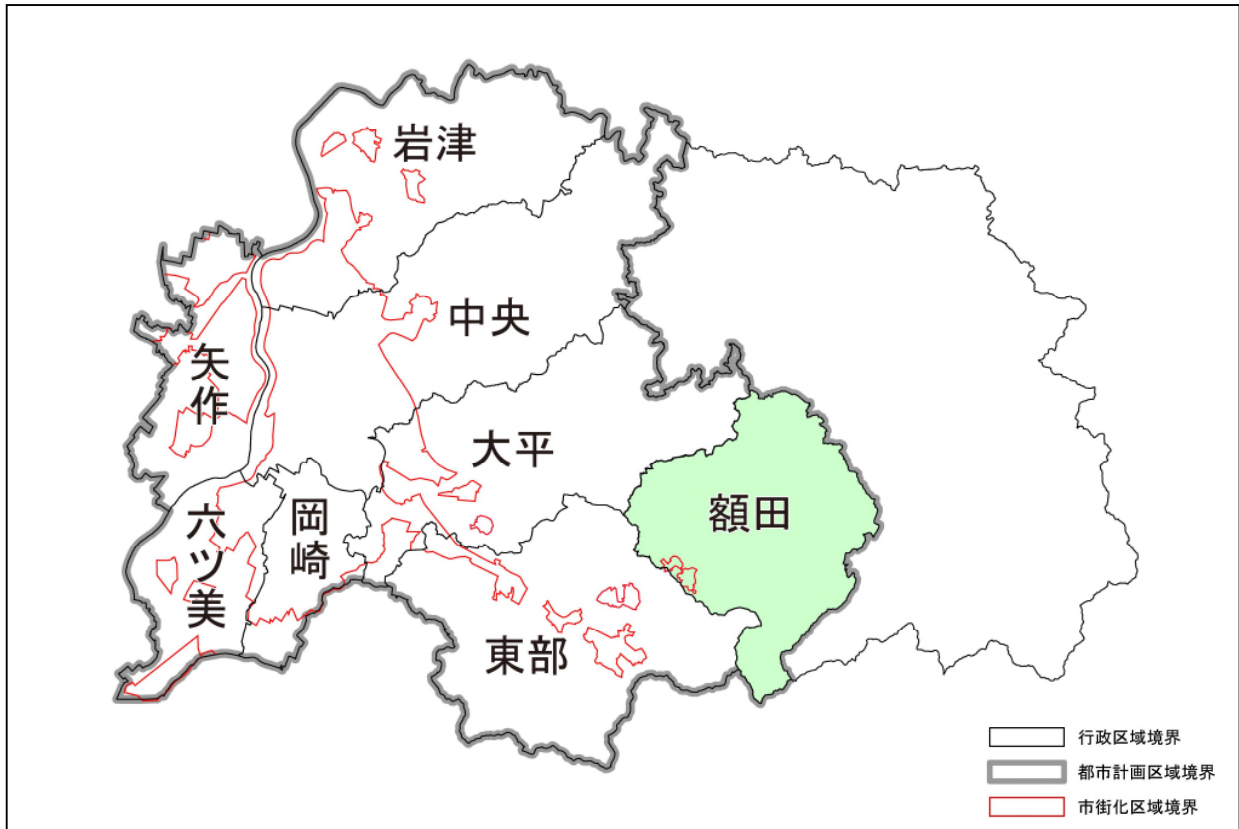
- 市街化区域境界
- - - 地域境界
- 拠点等の区域
- 専用住宅地
- 一般住宅地
- 沿道複合地
- 周辺商業地
- 商業地
- 職住調和地
- 工業地
- 大規模集落地(市街化調整区域)
- 農業保全地(市街化調整区域)
- 主な公園・緑地
- 高速道路
- 主要幹線道路(計画)
- 都市幹線道路(計画)
- 地区幹線道路(計画)
- その他〈県道・市道〉(計画)



No	施策・事業
1	地域拠点の形成
2	地区拠点の機能維持
3	住居系市街地の形成
4	都市計画道路※などの整備
5	悠紀斎田の保全

額田地域

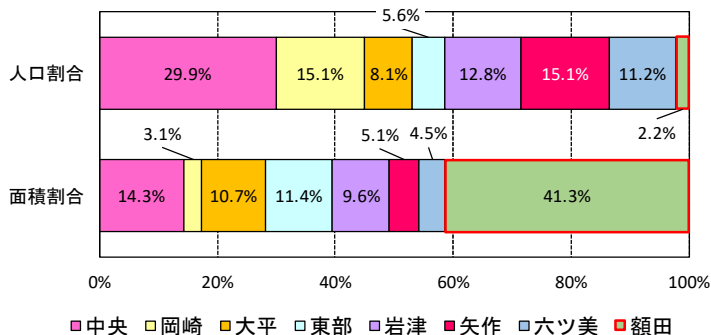
地域の大半が森林で形成されており、川筋に沿って集落、農地が点在しています。



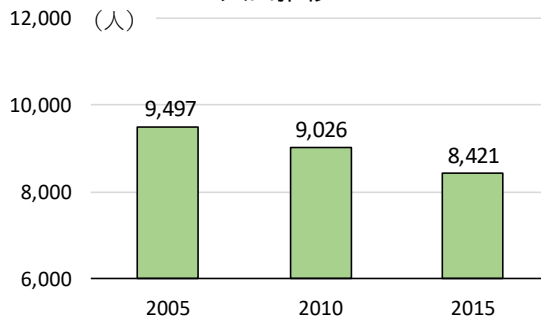
2015年人口：	8,421 人	（市域全体の 2.2%）
面積：	15,986 ha	（市域全体の 41.3%）

（1）地域の現況

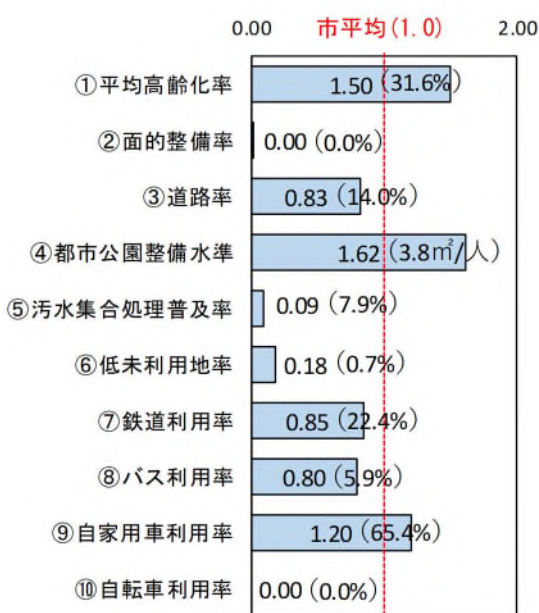
人口・面積割合



人口推移



市平均との比較



(市平均値を1.0とした相対評価、括弧内は各指標の地域の実績値)

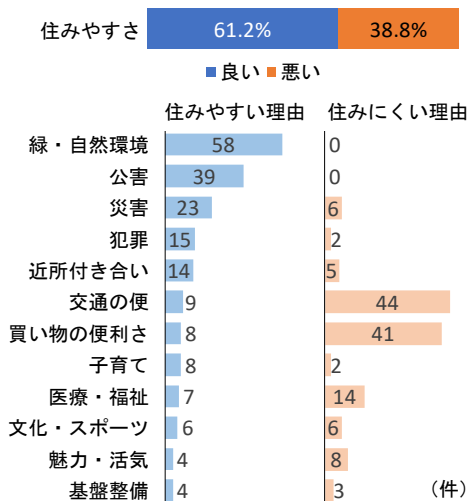
現況のまとめ

- ① 地域全体に森林が広がっています。(現況・意向)
- ② 岡崎東インターチェンジがあり、広域交通の利便性が高い地域です。(現況)
- ③ くらがり溪谷や鳥川ホテルの里などの自然を生かした観光資源があります。(現況)
- ④ 額田センター周辺を地区拠点に位置づけ、生活利便性の維持を図っています。(現況)
- ⑤ 地域全体に土砂災害へのリスクがあります。(現況)
- ⑥ 人口は減少傾向にあり、高齢化率は市平均を上回っています。(比較)
- ⑦ 鉄道・バスなどの公共交通の利用率は市平均を下回っており、自家用車の利用率は市平均を上回っています。(比較、意向)
- ⑧ ホテル学校やこども自然遊びの森「わんPark」などの自然環境について学べる施設があります。(現況)

(現況)：地域の現況 (比較)：市平均との比較

(意向)：アンケート、説明会からの市民意向

市民意向



（2）地域のまちづくりの課題と地域づくりの目標

＜額田地域の将来像＞
 豊かな自然環境の保全・活用と地域の特徴を生かしたまちづくりを目指します。

地域のまちづくりの課題	地域づくりの目標
主要課題1 広域的なネットワークの変化への対応 ・広域交通の利便性の活用（現況のまとめ②）	目標1 広域的な交通利便性を生かした地域振興
主要課題2 コンパクトでスマートな都市づくりへの対応 ・道路網を活用した地域間の連携の維持（現況のまとめ⑦） ・無秩序な市街化の抑制（現況のまとめ①） ・自然環境の保全と活用（現況のまとめ①）	目標2 自然環境を生かした活力の創造と交通ネットワークの維持・活用
主要課題3 住み続けられる居住環境*の質の向上への対応 ・道路などの基盤施設*の充実（現況のまとめ④⑥） ・集落環境の維持・向上（現況のまとめ④⑥）	目標3 額田センター周辺を中心とした生活基盤の整った地区拠点の形成
主要課題4 自然・歴史・文化を生かした都市の活性化・観光振興への対応 ・自然・歴史・文化といった地域資源の保全・活用（現況のまとめ③） ・交流機能の充実（現況のまとめ②）	目標4 広域交通の利便性と魅力ある地域資源の保全・活用
主要課題5 大規模自然災害などに備えた安全で安心な都市づくりへの対応 ・災害に備えたハード・ソフト対策による被害を最小限に抑える取組み（現況のまとめ⑤）	目標5 市民などととともに土砂災害などの危険性を踏まえたハード・ソフト対策の推進による自然災害への対応

（3）地域のまちづくりの方針

土地利用※に関する方針と主な施策

- 1 地域の特性に応じた良質な居住環境※の形成 目標2 目標3
面的な整備による良質な市街地の形成・・・1
 - ・既存の集落地を中心とした住宅地で地域の協力のもと、面的な整備も視野に入れた良質な市街地の形成を検討します。
- 2 地域の特性に応じた都市機能※の導入・集積による利便性の高い市街地の形成 目標1 目標3
地域交流機能の維持・向上・・・2
 - ・額田センター周辺では地区拠点にふさわしい公共施設を中心にした地域交流機能の維持・向上に努めます。
- 3 産業振興に資する産業用地の確保・誘導 目標1 目標2 目標3
産業用地の検討・・・3
 - ・必要に応じて地区計画※などを活用し、既存の工業地などの拡充や、岡崎東インターチェンジ、国道473号などの幹線道路沿道で工業用地の確保に努めます。
- 4 無秩序な市街地拡大の抑制と市街化調整区域※、都市計画区域※外の自然環境の保全 目標2
無秩序な市街化の抑制
 - ・市街地の拡散を防止するため、無秩序な市街化を抑制します。市街化調整区域の自然環境の保全・活用
 - ・生物多様性の保全を図り、市民が身近に自然を感じられるように、市街化調整区域の森林や農地などの保全・活用を推進します。集落環境の維持
 - ・集落地などでは生活環境※の維持に努めます。

道路・公共交通に関する方針と主な施策

- 1 広域道路網※の整備促進、幹線道路網の強化、身近な道路の整備推進 目標1 目標2
地域を支える道路網の整備
 - ・地域内や地域間の円滑な交通を確保するため、国道473号の整備や県道切山夏山線の歩道設置などを促進します。
 - ・橋りょうやトンネルなどの道路構造物は、定期的な点検と計画的な補修・補強を実施することで予防保全を図ります。生活環境の向上
 - ・既存の集落内では生活道路の拡幅など生活環境の向上を検討します。
- 2 安全で快適な歩行者・自転車通行空間の確保 目標3
歩行者や自転車の通行空間の確保
 - ・通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の交通安全対策を推進します。

3 鉄道やバスなどの連携による公共交通ネットワークの構築 **目標2** **目標3**

バス交通などの連携強化

- ・本宿駅と地区拠点を結ぶバス路線の確保・維持を図るとともに、中山間地域では生活の足としての交通を確保するため、地域での主体的な取り組みを基礎とした移動手段の確保と利便性の向上に努めます。

公園・緑地に関する方針と主な施策

1 社寺林などの自然環境の保全 **目標3** **目標4**

身近な地域資源の保全

- ・自然・歴史・文化などの身近な地域資源を保全します。

身近な広場空間の確保

- ・子どもたちが安全に遊ぶことができるような身近な広場空間の整備に努めます。

河川・上下水道に関する方針と主な施策

1 治水・浸水対策の強化 **目標3** **目標5**

情報伝達体制などの充実

- ・河川情報の収集と情報伝達体制及び警戒避難体制の充実を図ります。

景観・自然環境に関する方針と主な施策

1 無秩序な開発の抑制による自然環境の保全 **目標2** **目標3** **目標5**

自然生態系の保護

- ・ホテル学校を活動拠点として、男川流域ではホテルなどの自然生態系の保護に努めます。

森林の保全・活用

- ・水源の涵養や多様な生物の増殖などを図り、市民が自然に触れあえる場として森林を保全・活用します。

防災に関する方針と主な施策

1 防災都市基盤^{*}の強化による災害に強い都市づくりの推進 **目標5**

公共施設の耐震化

- ・橋りょうやため池などの公共施設の耐震化を推進します。

防災機能を有する道路や広場などの整備

- ・災害時の地域住民の安全を確保するため、避難路である道路や避難地、火災延焼防止機能を有する広場などの整備を図ります。

2 土砂災害対策の強化 **目標5**

土砂災害の防止

- ・森林の保全や災害防止施設の整備を促進し、土砂災害の防止に努めます。

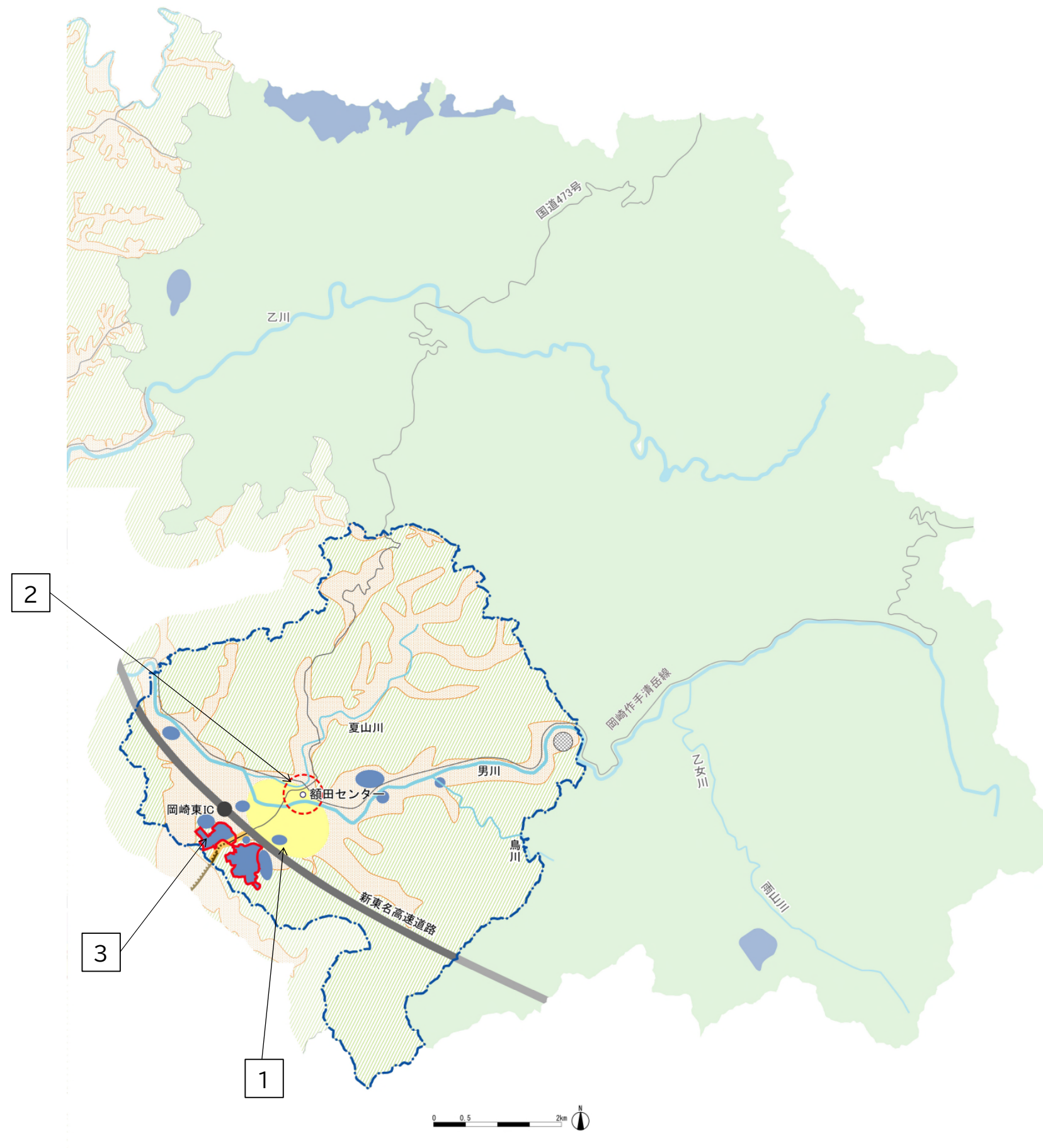
3 事前復興の取組みの推進 目標2 目標5

災害に備える体制の検討

- ・ 市民や事業者とともにまちの防災性を向上させる取組みを促し、災害に強く早急な復旧・復興ができる体制を検討します。

まちづくり構想図(額田地域)

- 市街化区域境界
- - - 地域境界
- 拠点等の区域
- 一般住宅地
- 沿道複合地
- 工業地
- 森林保全地(市街化調整区域)
- 農業保全地(市街化調整区域)
- その他(市街化調整区域)
- 高速道路
- 主要幹線道路(計画)
- 都市幹線道路(計画)
- 地区幹線道路(計画)
- その他〈県道・市道〉(計画)



No	主な施策・事業
1	面的な整備による良好な市街地の形成
2	地域交流機能の維持
3	産業用地の検討